

# 「漁業」シラバス (授業計画)

総合学科 選択科目 3年 2単位

月	総時数	学 習 項 目	学 習 内 容	時数
4		第1章 漁業と水産生物		
		第1節 漁業の意義と沿革		
	1	第1 漁業の役割	漁業の役割について学ぶ 食料を安定供給する役割	1
	2		健康を増進する役割 職場を提供する役割	1
	3	第2 漁業の変遷	海洋環境を保全する役割 海の文化を継承する役割	1
	4		原始 古代 中世・近世	1
	5		現代 (明治～昭和20年まで)	1
	6	第3 漁業をめぐる課題と展望	現代昭和20年以降	1
5	7		国際貢献 資源管理型漁業への転換 周辺水域の高度利用	1
	8		水産物需要の変化への対応 漁村を巡る情勢 海洋開発と漁業 漁業の使命と展望	1
	9	視聴覚機器活用授業	海の生物	1
	10	第2節 海洋環境と生物生産	海洋 (区分 海底形状 底)	1
	11	第1 海のあらまし	海水の性質 (水温 塩分)	1
	12		(栄養塩類 溶存ガス 水素イオン濃度)	1
	13		(海水の色、水色、透明度 海中の音)	1
	14		1学期 中間考査	1
	15	定期考査	海水の流動 海洋環境の概要	1
	16	第2 海流と水塊	海水と水塊	1
6	17		水塊と潮境	1
	18		生物生産の概要 (水産生物の種類、呼び名、分類) ①	1
	19	第3 海の生態系	生物生産の概要 (水産生物の種類、呼び名、分類) ②	1
	20		生物生産の概要 (水産生物の種類、呼び名、分類) ③	1
	21		水産生物の生態 マイワシ マサバ サンマ	1
	22		スルメイカ マアジ ブリ	1
	23		スケトウダラ サケ・マス類	1
	24		マグロ、カツオ、	1
	25		クジラ類	1
	26		コンブ、ワカメ、モズク	1
	27	定期考査	1学期 期末考査	1
7	28	第4 プランクトンと食物連鎖	プランクトンの種類	1
	29	視聴覚機器活用授業	食物連鎖	1
	30	第3節 漁業と漁場管理	魚食文化	1
9	31	第1 漁場の条件	漁場の条件 漁場の成り立ち	1
	32		漁場形成の仕組み 渦潮漁場	1
	33		湧昇流①	1
	34		湧昇流②	1
	35		陸棚上の漁場	1
	36		堆・礁漁場	1
	37		漁場の特性と分類	1
	38	第2 漁場の調整		1
	39	第3 漁場の選定と調査方法	漁場の開発 漁場の調査①	1
	40		漁場の調査②	1
10	41		人工魚礁① 種類	1
	42		人工魚礁② 設置の条件	1
	43		人工魚礁③ 集まる魚種	1
		第4節 海の環境保全		

	44	第1 海洋環境の保全意義		1
	45	第2 漁場環境の変化	自然的な要因	1
	46		人為的な要因	1
	47	定期考査	2学期 中間考査	1
		第3章 漁業の技術	漁具とは 魚法とは	
	48	第1節 漁具と魚法	行動の分類	1
	49	第1 水産生物の生態と行動	刺激に対する仕組み 感覚と行動	1
11	50	第2 動物の行動と感覚特性	視覚と行動	1
	51		聴覚と行動	1
	52		嗅覚・味覚	1
	53		魚の遊泳行動 魚群行動	1
	54	視聴覚機器活用授業	日本の漁業	1
	55	第3 魚法とその分類	探魚法 目視探魚法 機械探魚法	1
	56		情報解析探魚法	1
	57		集魚法 誘引法① 集魚灯	1
	58		誘引法② 餌 音響 敷設物	1
	59		駆集法 遮断誘導法	1
	60	定期考査	2学期 期末考査	1
12	61	第4 漁具とその分類	網漁具 刺し網 かぶせ網 すくい網	1
	62		敷網 引網	1
	63		巻網 定置網	1
	64		かご	1
1	65		釣り漁具 1本釣り	1
	66		引縄 延縄	1
	67		イカ釣り	1
	68		その他の漁具	1
	69	定期考査	卒業考査	1
2	70	視聴覚機器活用授業	日本の伝統漁法	1

「漁業」の評価について

1. 評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点から行います。
2. 年5回の定期考査、提出物、学習活動への取組状況、出席状況などを総合的に評価します。